

人口 8,300 人の町の旧町営温浴施設を「図書館」を核とした交流拠点へ
熊本県南関町の〈ukara〉がグッドデザイン賞を受賞



株式会社ブルースタジオ（本社：東京都中央区）が基本計画・設計監理・ブランディングを手がけた、熊本県南関町の交流拠点施設〈ukara〉（うから）が 2026 年度グッドデザイン賞を受賞しました。

南関町交流拠点施設〈ukara〉は、2019 年に閉館した町営の旧温浴施設を用途変更し誕生した図書館等複合施設。「図書館機能」を中心に「集会交流機能」「公園機能」を重ね合わせた中心市街の交流拠点です。人口約 8,300 人の町営施設でありながら、周辺地域居住者 30 万人をターゲットとした目的型施設を目指しました。

デザインのポイント

1. 地域に長年愛された温浴施設「南の関うから館」の記憶の継承
2. 探求の場としての図書館、表現の場としての公民館、そして公園機能をカフェラウンジで重ね合わせた複合施設
3. 8,300 人の町の公共施設でありながら開館から 9 ヶ月で 10 万人が来館、行政区の枠組みを超えた活動拠点



開館後、町の内外から人が集まる場所へ

2025 年 10 月の開館から 1 年が経ち、〈ukara〉では施設主催・町民団体主催のイベントに加え、近隣市町村の事業者によるイベントも開催されるなど、多様な活動が行われています。図書館を核に人が集まり活動が生まれる、南関町と周辺地域をつなぐ新たな交流拠点としてその役割を広げています。

〈開館から9ヶ月間の実績〉

- 来館者数: 10 万人
- 1 日平均来館者数: 約 420 人
- イベント利用数: 50 回

【審査委員の評価】

旧温浴施設を図書館等複合施設に用途変更したユニークな施設計画とデザイン。温浴施設の記憶のある空間をアダプティブリユースしつつ、公園に面した縁側やカフェラウンジなどで、ひらかれた施設としての風景もデザインしている。すでに町内だけでなく、近接の地域からも目的地として訪れる人が現れる施設として認知されていることが素晴らしい。カフェ事業者が図書館に本を納入する書店の役割も兼ねる仕組みなど、持続的な事業デザインも秀逸である。

〈受賞概要〉

賞名：2026 年度 グッドデザイン賞
主催：公益財団法人日本デザイン振興会

〈受賞対象〉

名称：南関町交流拠点施設〈ukara〉
所在地：熊本県玉名郡南関町関町 1230
事業主体：南関町
基本計画・設計監理・ブランディング：株式会社ブルースタジオ

- ▶ 〈ukara〉GD 賞受賞ページ URL：<https://www.g-mark.org/gallery/winners/37998?years=2026>
- ▶ 〈ukara〉公式サイト：<https://www.ukara-nankan.jp/>

人口減少時代に、「つくる」から「使いこなす」へ

今後もブルースタジオでは、建物を起点に、暮らしや文化・人の営み・地域の価値を視野に入れながら、自治体が保有する公有資産を「地域の資産」として活かすまちづくりに取り組んでまいります。

また、令和 8 年度には国土交通省の [PPP パートナー](#) に認定されました。PPP/PFI をはじめとした官民連携事業において、これまで培ってきた企画・設計・デザインの知見を活かし、建物が完成した先に、その場所が地域の中でどのように使いこなされ、新たな活動を生み出していくのかを見据えた事業のあり方を、地域の皆さまとともに考え、実践してまいります。

■自治体・民間事業者の皆様へ

地域や保有不動産のご相談を随時受け付けております。

事業化の構想・初期段階からでもご相談いただけますので、お気軽にお問い合わせください。

〈お問い合わせ・取材・画像貸し出しの連絡先〉

株式会社ブルースタジオ 事業戦略部（担当：中島）

TEL：080-3407-9794 MAIL：souq@bluestudio.jp

事業戦略部 Web サイト：<https://strategy.bluestudio.jp/>

以上